



名月に鏡磨くなり京の町

藤野古白

お月見

昔々、猿と狐と兎が山の中で力尽きていた老人に出会いました。

老人は「もう何日も何も食べていないのだよ」と言いました。

可哀想になつた3

匹、猿は木ノ実を集め、狐は川から魚を捕り、それぞれ老人に食べさせました。しかし兎はどんなに苦労しても何も採ることが出来ませんでした。

自分の非力を嘆いた兎は、何とか老人を助けてないと考えた挙句、猿と狐に頼んで火を焚いてもらい、「私は何も採れませんでしたから、私を食べてください」と言い、自らの

身を食料として老人に差し出すため、自ら火の中に飛び込みました。

その姿を見た老人

は、帝釈天としての正体を現し、ウサギの捨て身の慈悲行為を後世まで伝える為、兎を月に昇らせました。

月に煙状の影が見えるのは、兎が自らの身を焼いた際の煙だと言われています。

そんなことは知らない私などは、月が綺麗だなあと言いながら団子を食べているのですからどうかと思いますね。救われないでしょうね。

籠谷 弘

90歳の川柳

うつかりと92年生きてきた

90歳これからなさと啖呵切る

いつ逝くもいいと言いつつ薬すけ

娘たち気遣いなしでよりも重い妻

友達と昔話も飽きて友達と昔話も飽きて

イケメンに年齢聞かれサバを読む

キッチンで朝晩泳ぐ

よ妻亡き後

趣味一つ加えてボケを追っ払う

夫からどなたと聞かれ笑っちゃつた

百まではやたら頑張れ

その後は?

亡き妻は天国でまつ行けるかな

手を握り花火見た夜

を忘れない

老妻の手が杖の代わりの三千歩

くずかごに薬を捨てて大騒ぎ

1日がたつぶりあり疲れます

本物毛をば引っ張る
クラス会

まだまだ生命線は光ってる

お節介焼きたい爺はもうあの世

「会員 趣味のホームページ」

藤本花枝さんの「あじさい川柳」と石田禎子さんの「コスモス短歌」のホームページを開設しました。ホームページ <http://botuichi.com/> の「お知らせ」の下にリンクを置いています。ぜひ、一度ご覧下さい。

歌声喫茶 11月の予定日
「西院」(第2、4木曜日)
11月14日、28日
「洛西」(第1、3木曜日)
11月 7日、21日
詳しくはホームページを!



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地 4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL : kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。